

2021年3月29日

報道関係者 各位

全国稀有の郷土かるたコレクション デジタルアーカイブを公開

群馬大学（群馬県前橋市）は、総合情報メディアセンター中央図書館が所蔵する全国の郷土かるたコレクションのデジタルアーカイブを公開しました。



1. 本件のポイント

- 総合情報メディアセンター中央図書館では、全国およそ280種の郷土かるたを所蔵しています。
- 今年度からかるた札のデジタル化を進め、専用Webページにて掲載許諾を得た県内60種の郷土かるた札画像および所蔵かるた一覧を公開しています。
- 発行当時の「上毛かるた」や、合併前の市町村かるた、小学校かるたなど、現在は入手困難な貴重な札を見ることができます。
- 郷土学習や地域づくり活動などへの活用が期待されます。

2. 本件の概要

中央図書館の「郷土かるたコレクション」を紹介する専用Webサイトを公開しました。中央図書館が所蔵する全国の郷土かるた277種の一覧，群馬県の郷土かるた79種の内容（発行，枚数など）と札画像（許諾を得たもの，3/25現在60種）をご覧ください。

郷土かるたは、都道府県、市町村、地区、学校区など、様々な地域単位で制作され、全国にはおよそ千数百種以上が存在すると言われています。群馬県では、有名な『上毛かるた』をはじめ、郷土かるたがおよそ130種程度制作されており、日本一の「郷土かるた県」と言えます。

郷土かるたは、地域の自然・人物・歴史・産業・文化が凝縮された社会的文化的教育的価値の高い遊戯・カードである一方で、流通が一部地域に限られ、その存在や内容が全国的に知られる機会はありません。

そこで、当館の郷土かるたコレクションを通じてその価値や魅力を多くの方に知っていただきたく、令和2年度群馬大学地域貢献事業として、県内を中心とした郷土かるたコレクションのデジタルアーカイブ化を開始しました。GIGAスクール構想によってICTの利用が進む学校教育における郷土学習への活用や、新たな研究の発展、地域の特性を活かした諸活動等に貢献できれば幸いです。今後は、札画像の拡充を進めるほか、かるた現物の展示や講演会の開催なども計画しています。

当Webサイトは、NPO法人日本郷土かるた協会（理事長：山口幸男氏・本学名誉教授，副理事長：原口美貴子氏・本学非常勤講師）のご協力のもと制作しました。

3. 公開先

群馬大学総合情報メディアセンター中央図書館 郷土かるたコレクション

<https://carta.media.gunma-u.ac.jp/index.html>

詳細（群馬大学総合情報メディアセンターお知らせ）

<https://www.media.gunma-u.ac.jp/announce/2020/clib/2021032500.html>

【本件に関するお問合せ先】

clibsp@jimu.gunma-u.ac.jp